

日韓のオンライン交流授業による韓国語教育

－島根県立大学初級科目における試み－

姜英淑（島根県立大学）

発表の構成

0. 発表の概要
1. 背景：島根県立大学の英語ゼミ
2. 多文化理解特別演習科目の取り組み
 - 2.1 ECUとの取り組み
3. 韓国語授業における試み
 - 3.1 限界と成果
4. 2020年度秋学期授業の試み
5. 今後の課題と発展

0. 発表の概要

- ・ 2020年度島根県立大学の秋学期に試みた、オンラインツールを介した異文化間の交流授業による韓国語教育の実践報告を目的とする。
- ・ 教育現場の課題の解決策として、ICT（Information and Communication Technology）利用の教育を見直し、多様な授業モデルの可能性を探る。

1. 背景：島根県立大学の英語ゼミ

< 多文化理解特別演習Ⅰ・Ⅱ >

- **GPE**(Global Partner in Education)のメンバーとして、2010年から海外大学の学生とインターネットを介して、ディスカッションを行ったり、共同でプレゼンテーション課題に取り組むことにより、異文化理解を深めることを目的とするICT活用の授業。

GPE(Global Partner in Education)とは

- **ECU**(East Carolina University)を拠点とする、世界25ヵ国、45大学の加盟校からなる教育と研究のための国際的なコンソーシアム。 → <https://thegpe.org/about-gpe/>



GPE(Global Partner in Education)とは

- 2007年に設立され、国際的な共同授業の運営、共同プロジェクトの実施、国際会議の開催、学会誌の出版等を行なっている。

→ **ECU(East Carolina University)**で、海外に行けない学生のために、オンラインを利用し、海外の人と交流することにより、異文化間の理解を深られるよう、2003年に試験的に実施した授業がその始まり。

GPEの教育活動

- 毎年4000人以上の学生に対してグローバルな異文化理解の授業を提供している。

→ パートナー校のアレンジ（加盟校同士）

→ 共通シラバスの作成

→ 授業運営や評価法のガイド

2. 多文化理解特別演習科目の取り組み

① ワンセメスター×3ヵ国（大学）と共同授業

② 1大学と4回～5回：家族・社会・文化等

③ パートナー校の国のことについて共同プレゼンテーション

2. 多文化理解特別演習科目の取り組み





2.1 ECUとの取り組み

・ ECUの演劇学科と2010からテレビ会議による共同プロジェクト実施

島根出雲の神話・
童話等を英語で語
る



物語を演劇とし
て公演

同期型（ZOOM・ポリコム）





2021/3/26



13





3. 韓国語授業における試み

- ・ 2018年～2019年（春）*：韓国語Ⅱ（B）～韓国語Ⅳ（B）

- ・ ソウル神学大学の日本語学科 1～2年生

* 夏の短期研修（蔚山）に参加予定者も含まれる

3. 韓国語授業における試み



3. 韓国語授業における試み

- ・（パソコン経由の）LINE電話を介したテレビ会議：計5回

- ・日・韓学生を1：2、1：1でマッチング作業

- ・自己紹介・一つの質問（目標言語）
→ 答える時は、目標言語・母語使用指導

3.1 限界と成果

- ① 授業時間を合わせることが難しい
 - 授業時間の変更・一部の時間を活用
 - 単発的・イベント的

- ② レベルのばらつきや交流に関する認識の違い

- ③ ICTツールの活用の不慣れ
 - 限られた内容の交流しかできない

3.1 限界と成果

- ・ 8月の異文化理解研修の後に、ソウルで実施するワークショップ*の事前打ち合わせ

- i) 異文化理解研修：夏季休みに約3週間実施される短期研修（2単位）→ 蔚山大学

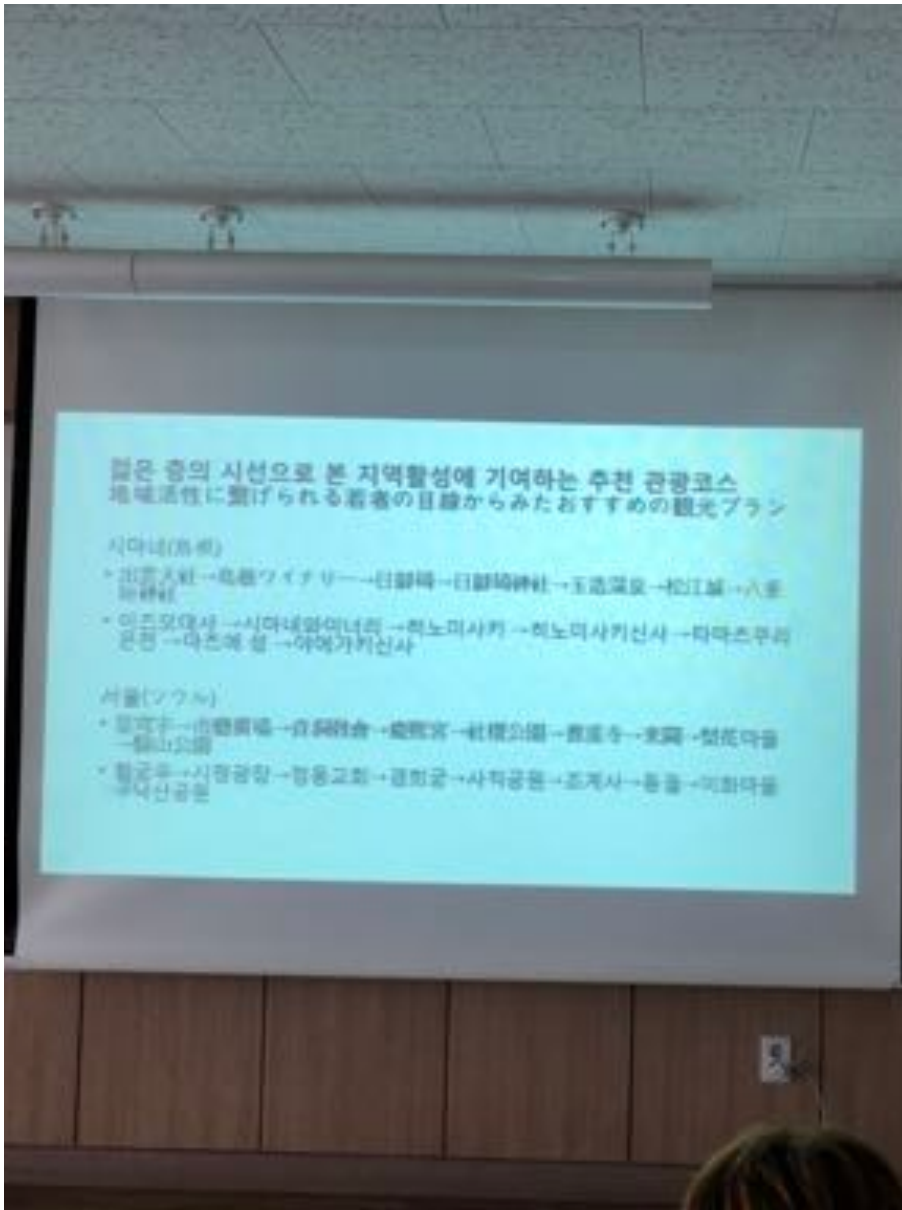
- ii) i) の終了後、ソウルに移動、ソウル神学大学の日本語学科とワークショップ（2018年から）

3.1 限界と**成果**

* ソウル神学大学の日本語学科とワークショップ

- ① 3つのトピックスについて日韓学生の共同プレゼンテーション
- ② 地元高校訪問・交流
- ③ ホームステイ・DMZ訪問等







3.1 限界と成果

- ・ワークショップに参加予定の学生は、事前にペアの学生と顔合わせ

- ・円滑なワークショップ・交流が可能

4. 2020年度秋学期授業の試み

1. 授業の実施形態

- MS社の**Teams**使用のオンライン授業
→ ZOOM併用

- リアルタイム（同期型）、オンデマンド（非同期型）併用

4. 2020年度秋学期授業の試み

2. 概要

- ・ ZOOMを介した日・韓両大学の交流授業

- ・ 島根県立大学「韓国語Ⅰ (B)」とソウル神学大学「日本語学科1年生」 → 計 37名が参加

- ・ 3つのトピックスについて、それぞれの目標言語で交流 + 自由会話（言語制限無）：2時間30分

4. 2020年度秋学期授業の試み

3. ねらい

1. 3つのトピックスの準備による韓国語スキルの向上。

2. 異文化間コミュニケーション能力の向上

3. 感染症により、現場が抱えている問題の打開策 ← 短期研修の中止、学習のモチベーションの低下等

韓国語Ⅰ (B) : 初級クラス

1. レベル・実施方式

① 本学の第2言語科目は、秋学期から始まる
→ 入門

② (45分×週2回) + 会話・聴解Ⅰ (90分×週1回) → 90分×週2回

* 12回 + 3回 (時間割変更) : 12月末で学期終了のため

韓国語Ⅰ (B) : 初級クラス

2. 授業の構成員

① 12名 (女: 9名、男: 3名)

→ 中国人留学生1名: 中国現地から参加

② 独学等による学習歴有り: 6名 (女)

4.1 交流授業の参加構成員

① 韓国語Ⅰ (B) + 5名 → 計17名

- 1年間の留学経験：1名 (男)
- 短期研修経験：1名 (約250時間以上)
- ダブルディグリークラス：2名 (約200時間)
- 2年生：1名 (約100時間)

4.2 交流授業の事前準備

① 3つのトピックスの作文課題

② ①のフィードバックの動画：streamにup

③ ②の発音練習の動画作成（課題）

④ ③のフィードバック

① 3つのトピックの作文課題

- a. 韓国語（日本語）を勉強したいと思った理由・きっかけは？
- b. 韓国（日本）で行ってみたい所は？
- c. コロナ禍でどのように大学生活を送っているのか？

① 韓国語を勉強したいと思った理由を教えてください。

저는 한국 드라마를 좋아해서, **자막** 없이 보고 싶다고
생각했기 때문입니다.

(私は韓国ドラマが好きで、字幕なしで見たいからです。)

자막

② 韓国でやりたいことは?

제주도에 있는 오르다카제의 「천국의계단」에
가고 싶습니다.

(濟州島にあるオロダカジの「天國の階段」に行きたいです。)



③ この予備校での生活に大学生活を比べてどうですか?

주로 온라인 수업을 하고 있습니다.

친구들과 함께 수업을 **듣** 수 없으니까 **유감**입니다

빨리 원래의 **생활**로 돌아갈 것입니다

들을

아쉬워요.

생활로 돌아가면

(主にオンライン授業をしています。)

友達と一緒に授業を受けることができないのが残念です。

早く元の生活に戻りたいです。)

① 韓国語を勉強しようと思、た理由は?

→ 韓国ドラマを観ること、韓国の音楽を聴くことが好きだからです。

→ 한국 드라마를 보거나 한국 음악을 듣기 좋아하기 때문입니다.

듣는 것을

② 韓国で行ってみたい所はどこ?

→ 私は韓国の明洞に行ってみたいです。理由は、私はカカオフレンドズが好きなので、カカオフレンドズストアに行ってみたいです。

→ 저는 한국의 명동에 가고 싶어요. 이유는 제가 카카오 프렌즈를 좋아해서 카카오 프렌즈 스토어에 가고 싶기 때문입니다.

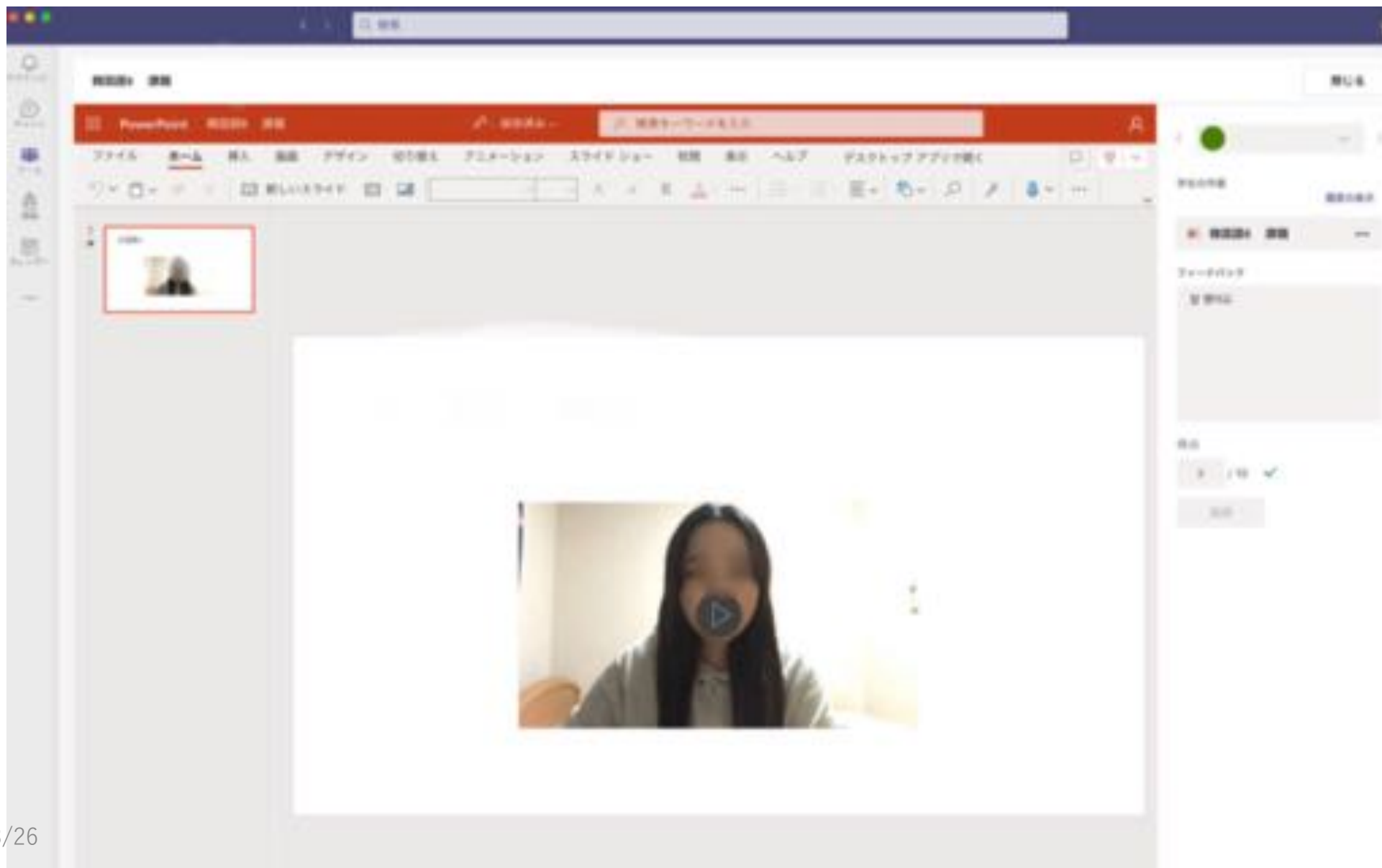
③ コロナ禍で入学してからずっとオンライン授業、大学生活はどのように送っていますか?

→ アルバイトと授業を両立して大学生活を送っています。

→ 아르바이트와 수업들 양립하여 대학 생활을 보내고 있습니다.

병행하면서

③発音練習の動画作成 ⇔ フィードバック



4.3 両大学の教員間の打ち合わせ

1) トピックスの選定：レベル等を考慮

2) グループ分け：名簿作成

3) アンケート作成

2) グループ分け

- ① 1グループ3名～4名：**9グループ**
 - 日・韓学生の割合（2対2・1対2）
 - 男女の割合も考慮
- ② 各グループに**司会者**1名（上級者）
 - 主に、**グループ活動の進行**を担当
- ③ グループ活動は前半・後半2回
 - 前半の司会者は、韓国の学生
 - 後半の司会者は、日本の学生

2) 그룹분け

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	신보윤	김경호	마엘림	이찬영	김치호	정의진	이정현	손학영	신은혜
	김윤혁	나희주	김선호	김우정	장민	김남건	장진명	김승은	임하은
						이신영	장채은		
	周藤 八瑛 (ストウ ヤエ)	大崎 珠乃 (オオサキ タマノ)	平尾 梨花 (ヒラオ リカ)	山口 響 (ヤマグチ ヒビキ)	太歳 春花 (ダサイ ハルハナ)	加藤 百葉 (カトウ モモハ)	眞鍋 聖位 那 (マナベ セイナ)	床波 伶音 (トコナミ レノン)	三島 凌駕 (ミシマ リョウガ)
	籔 大知 (ヤブ ダ イチ)	古石 葵 (コイシ アオイ)	王 文佳 (オウ ブ ンカ)	諫山 世奈 (イサヤマ セイナ)	古埜 杏奈 (コタオ アンナ)	岡田 ほた る (オカダ ホタル)	高田 行則 (タカタ ユキノリ)	杉浦 卒音 (スギウラ タカネ)	
2	三島 凌駕 (ミシマ リョウガ)	眞鍋 聖位 那 (マナベ セイナ)	加藤 百葉 (カトウ モモハ)	大崎 珠乃 (オオサキ タマノ)	古埜 杏奈 (コタオ アンナ)	山口 響 (ヤマグチ ヒビキ)	平尾 梨花 (ヒラオ リカ)	床波 伶音 (トコナミ レノン)	周藤 八瑛 (ストウ ヤエ)
	古石 葵 (コイシ アオイ)	籔 大知 (ヤブ ダ イチ)	王 文佳 (オウ ブ ン카)	諫山 世奈 (イサヤマ セイナ)	杉浦 卒音 (スギウラ タカネ)	岡田 ほた る (オカダ ホタル)	高田 行則 (タカタ ユキノリ)	太歳 春花 (ダサイ ハルハナ)	
	김윤혁	이신영	김우정	김남건	장진명	김승은	나희주	김선호	장민
	장채은	손학영	신은혜	이정현	정의진	김치호	이찬영	마엘림	김경호
				임하은	신보윤				

4.4 交流授業の当日の流れ

- 1) 全員で自己紹介：大学名、学科、学年等
- 2) 各グループに分かれる：20～25分
- 3) 各グループに分かれる：20～25分
- 4) 全員で別れの挨拶

全員で自己紹介



グループワーク



グループワーク：教員は様子を見て回る



別れの挨拶



グループワークの様子



4.5 アンケート項目 (15名：7名 = 計22名)

- ① 3つのトピックスを目標言語で相手に伝えることができたか？
- ② 交流の際、韓国語と日本語の割合
- ③ お互いうまく伝わらなかった時のコミュニケーション方法
- ④ 自由会話では何について話をしたのか？
- ⑤ 交流授業の良かった点、改善してほしい点
- ⑥ 交流授業にまた参加したいかどうか？
- ⑦ オンラインのトラブルの有無

4.6 アンケート結果

② 交流の際、韓国語と日本語の割合

《島根県立大学》

- ・ほとんど韓国語：4名
- ・ 5対5：2名
- ・ 3対7：1名（韓国語が3）

《ソウル神学大学》

- ・ほとんど日本語：1名
- ・ 7対3：10名（日本語が7）
- ・ 5対5：2名
- ・ 3対7：2名（日本語が3）

4.6 アンケート結果

③ お互いうまく伝わらなかった時のコミュニケーション方法

- ジェスチャー、言い回し
- 翻訳アプリ
- 携帯で写真を見せる
- 日本語（韓国語）を混ぜて会話

4.6 アンケート結果

④ 自由会話では何とついて話をしたのか？

- ・ ゲーム、アニメーション
- ・ ハマっているドラマや芸能人
- ・ コロナ禍で流行っているもの
- ・ 言語学習の難しさ

4.6 アンケート結果

⑤ 交流授業の良かった点、改善してほしい点

《島根県立大学》

- ・ 自分の韓国語が伝わって会話ができていることを実感できてよかった。
- ・ 同じような趣味を持った人同士で会話ができたらもっと楽しく話しやすくなると思った。
- ・ 司会者が決められていて、スムーズに進んだ。
- ・ 韓国の学生の日本語がすごく喋れていて自分も韓国語で喋れるようにもっと勉強しないと刺激を受けた。
- ・ 2回目のグループ活動ではメンバーが6人だったが、4人の方が話し安い。

4.6 アンケート結果

⑤ 交流授業の良かった点、改善してほしい点

《ソウル神学大学》

- ・ 日本語を使って日本の学生と会話することができて本当に良かった。
 - ・ 会話をしながら授業で学習した文法・単語を使えることができた。 どうやって伝えればいいのかずっと考えたので日本語学習に役立った。
 - ・ グループ活動の時間が短い。
 - ・ 語学力の足りなさを実感した。
 - ・ 相手が韓国語をあまり話せなかったなので、大変だった。
- 本人が日本語をあまり話せなかったから（?）

5. 今後の課題と発展

- ① 学期のずれによる交流授業の回数
- ② 時間割と授業時間のずれ
- ③ レベル合わせ（一定の学習時間のクリア）
- ④ 交流授業の内容の多様性

5. 今後の課題と発展

① 韓国語科目 → ICT活用の授業（回数制限有）

② 2021年度 → 5回の交流授業を予定

③ 非同期型の交流を積極的に活用

5. 今後の課題と発展

④ 学生同士の共同プレゼンテーション

⑤ 教育現場で抱えている問題の解決策として期待

ご清聴ありがとうございました。